

環境週間における研究室一般公開について

山本真理 風岡 修 加藤晶子

1 はじめに

千葉県環境研究センターでは、環境週間関連行事としての各研究室一般公開及び公開講座等を実施しており、地質環境研究室は、これらの機会をとらえて、地質環境教育の普及を図っている。

2010年度は一般公開期間中計 207 名の見学者があり、うち半数近くが「小学校から大学までの学生（以下「学生」と記す。）」であった。これら見学者の属性や意向等を把握し、次の一般公開に反映させるため、2008 年以降展示等に関するアンケート調査を実施している^{1)~3)}。

2 調査方法

実施期間：2010 年 6 月 7 日（月）～13 日（日）

（研究室一般公開期間）

対 象：地質環境研究室見学者

実施方法：アンケート用紙留置法，自記入式

調査項目：見学者の属性（年代，性別，居住地），情報の入手方法，展示内容（「興味深かった展示」等）について。

3 調査結果

3・1 見学者の内訳

全見学者 207 名のうち、公開講座、学校等からの「団体見学者」が 120 名、それ以外の「個人参加者」は、87 名であった。また、全アンケート回答者は 109 名、回収率は 52.7%であった。

環境週間の日別見学者数及びアンケート回答者の性別・年代分布等を図 1, 2 に示す。見学者を日別に見ると、土日の見学が全体の半数近くを占め、特に「個人参加者」に限ると 2/3 弱となっている(図 1)。また、アンケート回答者全体の年代分布(図 2)から「学生」及び「60 代以上」が、主な見学者である。

3・2 展示内容について

「興味深かった展示」について回答率（全回答者を

対象)の比較(2008~2010年)を図3に示す。

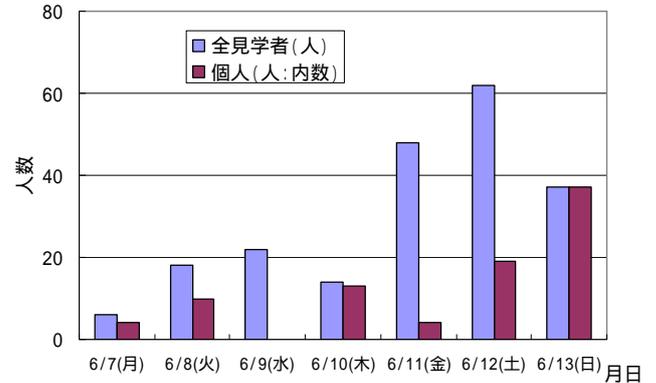


図1 日別見学者数

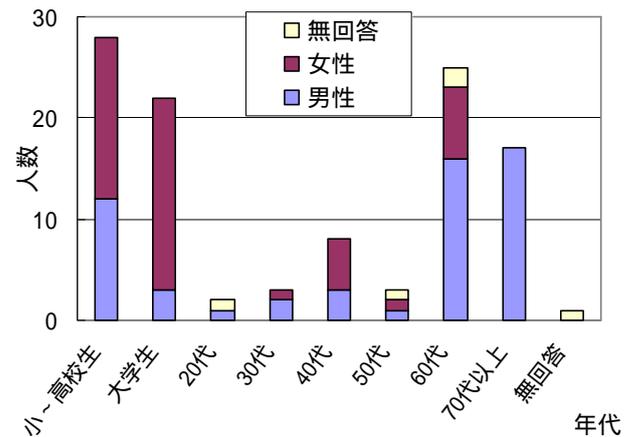


図2 全回答者の年代分布(n=109)

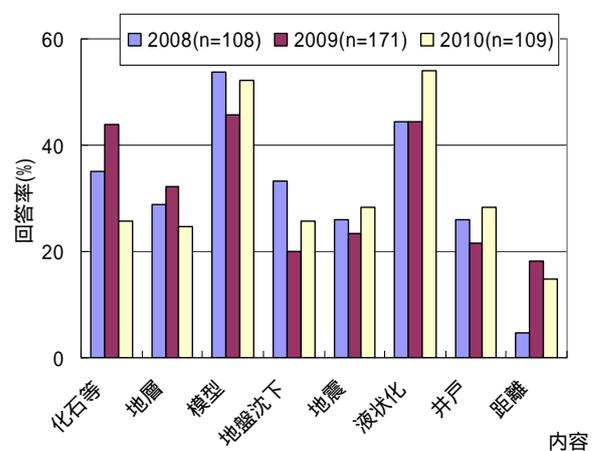


図3 「興味深かった展示」経年比較

概ね「地下水流動等模型」「液状化実験」の上位項目は毎年一致しているが、2009年度の調査で回答率の分布について、属性により回答率に有意差（ χ^2 検定、 $\alpha=0.05$ ）が認められたため、2010年度について「小学生～高校生」「大学生」「一般」に区分した分布を図4に示す。

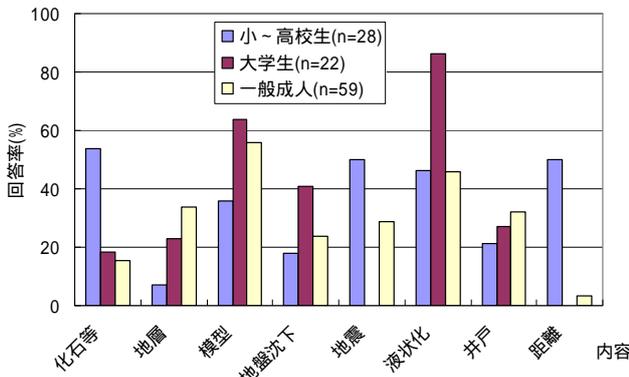


図4 興味深かった展示

（「小学生～高校生」から「一般」まで回答率の比較）

2009年度と同様「小学生～高校生」では、「化石等」について回答率が高く、「地下水流動模型等」については、やや低い傾向がある。「液状化実験」については、全てのグループで相対的に高くなっている。

満足度については、回答者の93%が「満足」又は「概ね満足」と回答しているが、さらに研究内容の詳細を期待する意見もあった。

「今後研究を強化してほしい分野」については、2009年度の結果と同様「地質(地下水)汚染」に次いで「地盤沈下」「地球温暖化問題」への期待が高かった。

3・3 経年変化について

2011年8月現在、本アンケート調査は2008年度から4年間実施しており、2011年の速報値から経年変化を見ると、土日の見学者が全体の約2/3を占めること、主な見学者が学生（小学～大学生）と60代以上であり、学生以外では男性が多いことには変化がない。また、「興味深かった展示」等、展示内容や「満足度」についても、毎年度概ね同様な結果である。

2011年度については、3月の東日本大震災の影響で「液状化」や「地震」についての展示への期待が大きいために「2011年度」と「2008～2010

年度合計」の比較を行ったところ「より詳しく知りたい分野」の問に対して「地震と液状化」と回答した率が有意に高かった（割合の差の検定、 $p=0.05$ ）。回答率の分布及び経年変化を図5に示す。

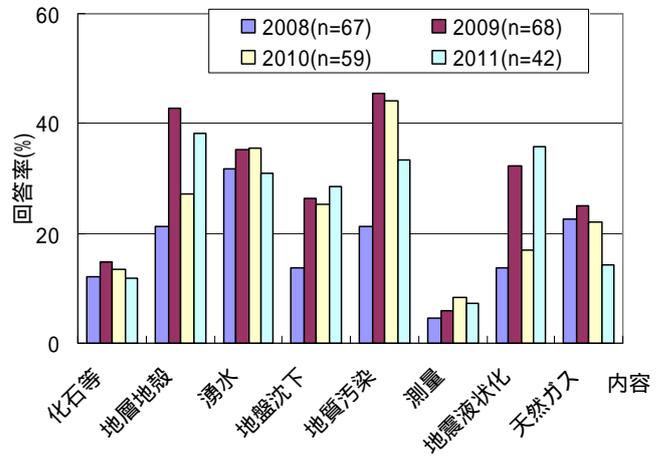


図5 より詳しく知りたい分野（2008～2011年度）

4 今後の研究室一般公開の課題等

毎年度アンケートで好評であった「地下水汚染模型」「液状化実験」等については、今後も継続していくが、「化石等」や「地下水流動模型」など見学者の年代やグループを考慮した説明等を行っていく必要がある。

また、2011年の東日本大震災など、状況に見合った展示を行う必要がある。

さらに、一部の見学者からは、詳細な研究内容を希望する意見もあり、地質教育的内容に加えて、研究成果の普及等も更に充実させ、見学者の増加と満足度の向上を図っていく必要がある。

引用文献

- 1) 山本真理, 吉田 剛, 古野邦雄, 風岡 修, 楠田 隆, 香川 淳, 加藤晶子, 酒井 豊: 研究室公開における地質環境教育, 第18回環境地質学シンポジウム論文集, 159-164(2008)
- 2) 山本真理, 吉田 剛, 古野邦雄: 研究室一般公開(アンケート調査から), 千葉県環境研究センター年報第8号 p.166 (2009)
- 3) 山本真理, 香川 淳, 古野邦雄: 環境週間における研究室一般公開について, 千葉県環境研究センター年報第9号 (2010)